

再評価 【番号3】

地域高規格道路 徳島環状道路

主要地方道 徳島環状線（新浜～八万工区）

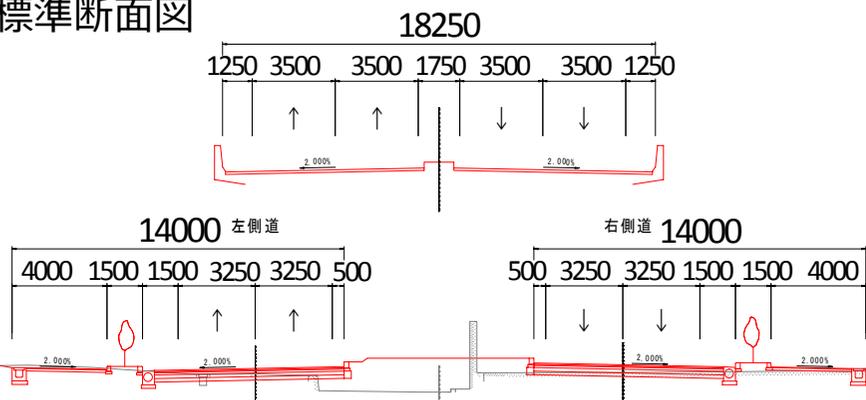
1. 事業概要

平面図

計画諸元

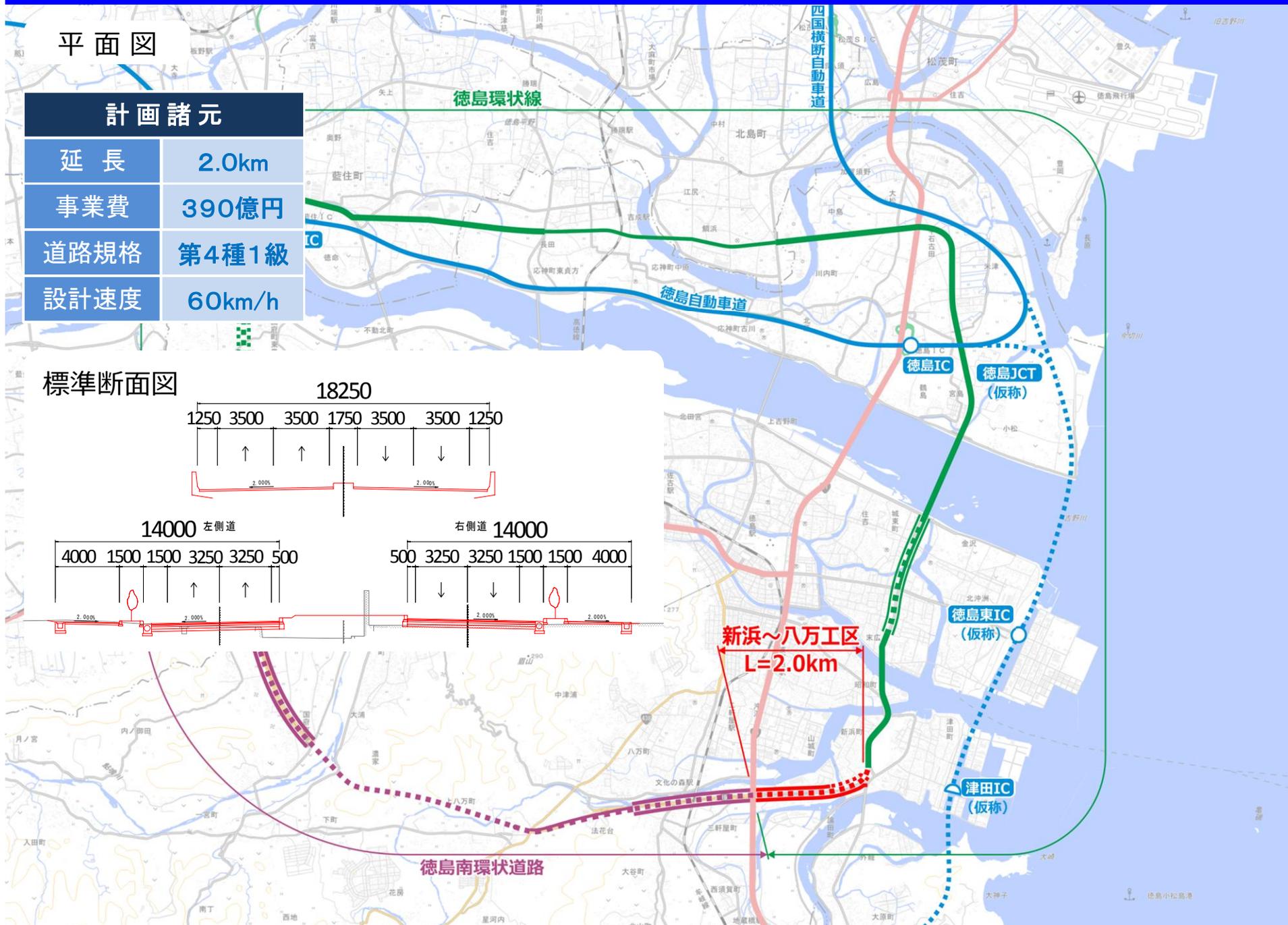
延長	2.0km
事業費	390億円
道路規格	第4種1級
設計速度	60km/h

標準断面図



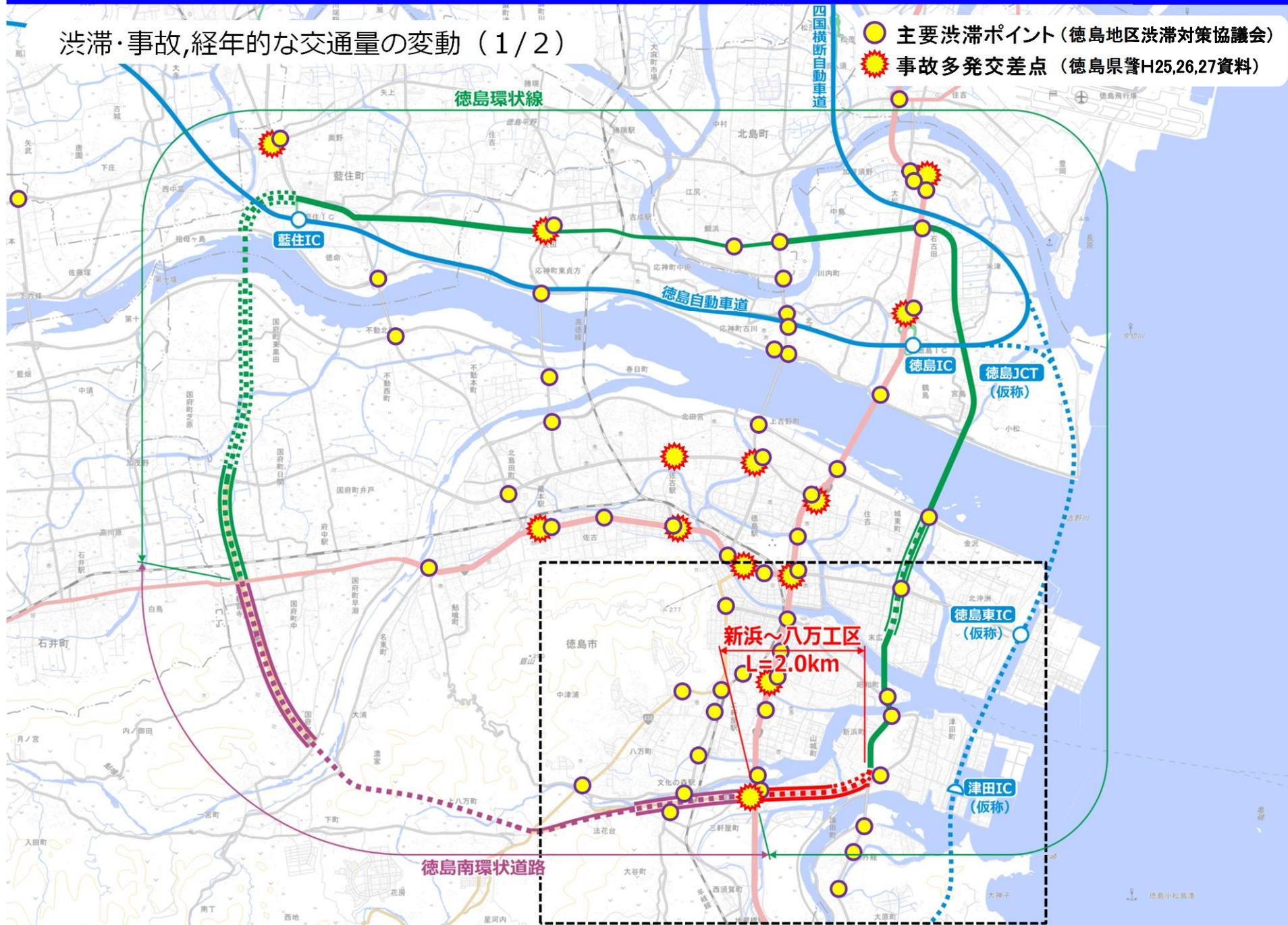
新浜～八万工区
L=2.0km

徳島南環状道路



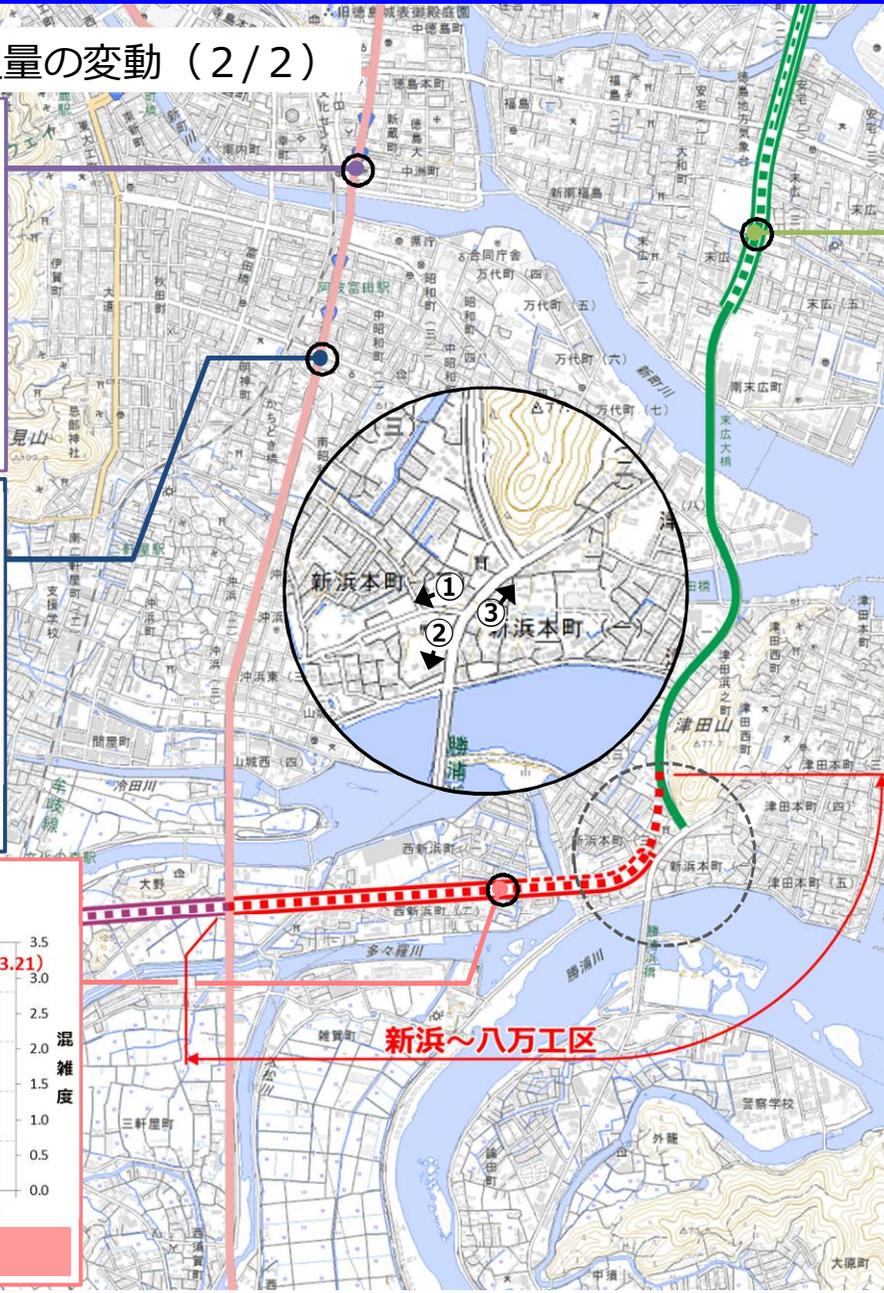
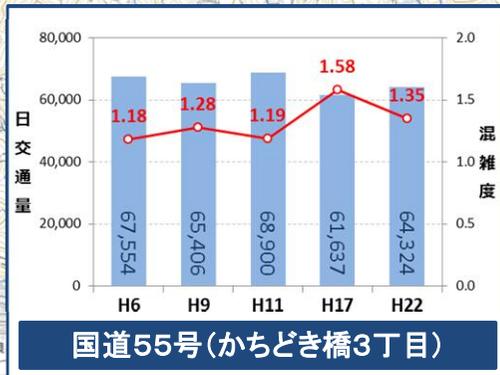
2. 道路交通上の課題

渋滞・事故, 経年的な交通量の変動 (1/2)



2. 道路交通上の課題

渋滞・事故, 経年的な交通量の変動 (2/2)



※交通量の推移は原則として道路交通センサ調査結果を用いているが、「徳島環状線(西新浜1丁目)」におけるH28値のみ別途調査による12h交通量調査結果(H27.4.22)にH22センサ調査結果の昼夜率を乗じた値を記載している。

3. 事業の進捗状況



進捗率	
事業費	64%
用地	96%



4. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **495.7億円**
(現在価値化後)

※費用C=441.2億円 (現在価値化後)

$$B/C = 1.1$$

+

その他の便益

計 **42.5億円**

(現在価値化後)

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果 4.7 億円
- ・ 騒音低減効果 17.3 億円

防災・減災(津波浸水)

- ・ 人的損失額の軽減 20.5 億円

(参考) その他の便益を含むB/C=1.2

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 緊急輸送道路ネットワークの強化
 - ⇒ 広域な防災機能の強化
 - ⇒ 直轄国道等のリダンダンシー確保
- 防災拠点等へのアクセス強化
 - ⇒ 地域防災力の向上

安全・安心

- 安全・安心の確保
 - ⇒ 市街地の通過交通と都市内交通を分離、沿道の生活環境を改善
 - ⇒ 歩行者・自転車の安全性向上

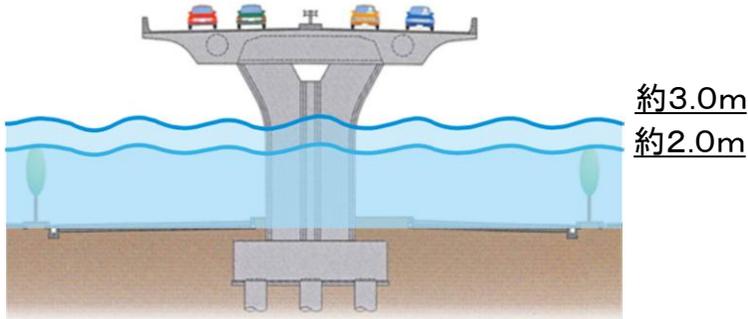
産業振興

- 地域間交流の促進
 - ⇒ 周辺地域の発展、地域産業の活性化
 - ⇒ 観光地へのアクセス強化

5. 道路整備による多様な効果【防災・減災】

【防災・減災】災害に強い道路ネットワークの構築

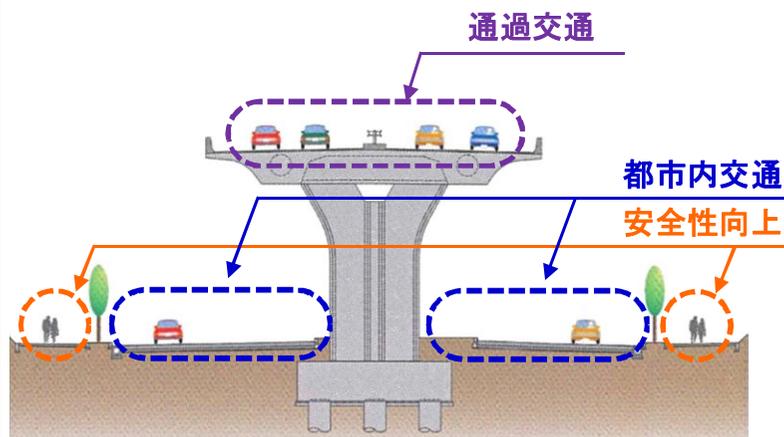
- ・第2次緊急輸送道路に指定
⇒各種拠点間の連携を強化
- ・高架橋として整備
⇒浸水被害を回避し、発災時でも活用が期待



5. 道路整備による多様な効果【安全・安心】【産業振興】

【安全・安心】沿道住民の生活環境改善

- ・市街地の通過交通と都市内交通を分離
⇒沿道住民の生活環境の改善
- ・自歩道の整備
⇒歩行者・自転車の安全性の向上



【産業振興】周辺地域の発展

- ・新浜八万工区沿線の商業施設の増加
- ・徳島環状線周辺の地域産業の活性化
- ・周辺観光地へのアクセス強化
⇒ 周辺地域の発展に寄与



※企業立地件数、大規模小売店舗立地法の届出件数は徳島県調べ

※南環状道路暫定供用開始年H12以降の周辺地域(徳島市、石井町、北島町、藍住町)における合計数



6. 道路整備による短期的な投資効果

◆近年中に期待できる投資効果

◆通常の3便益（一般部完成供用の初年度発現便益）

走行時間短縮便益：10.7億円/年
 走行経費減少便益：0.9億円/年
 交通事故減少便益：0.8億円/年

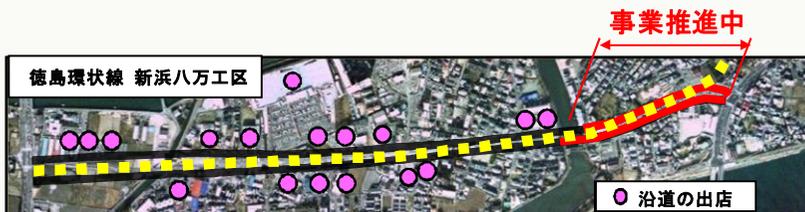
◆道路整備によるストック効果

○安全性の向上

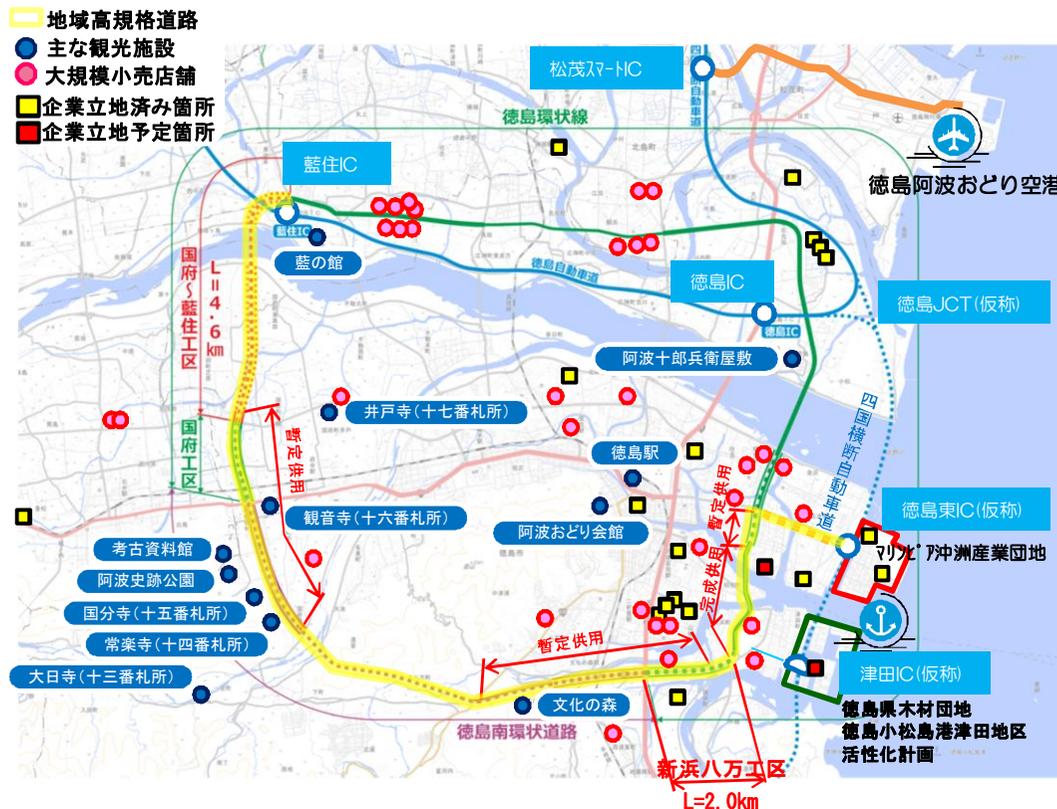
- ・自歩道整備による沿道住民の生活環境の改善及び歩行者自転車交通の安全性の向上
- ・災害時における救援・消防・防災活動の機能強化

○地域産業の活性化

- ・新浜八万工区沿線の商業施設の出店の増加
- ・徳島環状線周辺の企業立地、商業施設立地の増加



- ・周辺産業団地、四国横断自動車道等へのアクセス向上



■周辺地域の企業立地、商業施設立地が増加



※企業立地件数、大規模小売店舗立地法の届出件数は徳島県調べ
 ※南環状道路暫定供用開始年H12以降の周辺地域(徳島市、石井町、北島町、藍住町)における合計数